

# 第 28 回北九州脳卒中地域連携パス協議会議事録

## 第 22 回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2018年6月14日（木） 18:45～19:05

場所：ラマツィーニホール

出席者（別紙参照）

### 報告事項（事務局 加藤より）

#### 1. 脳卒中地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

平成30年5月15日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。累積利用件数は6731件で急性期医療機関からは5112件、回復期等連携医療機関からは5351件事務局では受理した。外来連携医療機関等からは75件であった。前回から461件の増加であった。発症平均年齢は74.2±12.1歳で脳梗塞の発症が64.3%と最も多く、次いで脳出血、くも膜下出血であった。急性期医療機関と回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数を示した。

#### 2. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

平成30年5月15日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。累積利用件数は4794件で急性期医療機関からは3686件、回復期等連携医療機関からは3723件を事務局では受理した。外来連携医療機関等からは36件であった。前回から293件の増加であった。受傷平均年齢は83.5±8.7歳で大腿骨転子部骨折49.0%が大腿骨頸部骨折46.1%に比べ多かった。急性期医療機関と回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数を示した。各医療機関をアルファベット表記しているが、今後は希望があれば集計結果報告時に医療機関名を公表していくことも検討することを説明した。

#### 3. 2018年診療報酬改定の概略

改定の概略に関して以下を説明した。

大きな変更点として退院支援加算が入退院支援加算と名称が変更になったこと、入退院支援加算2でも地域連携診療計画加算が算定可能となったことが挙げられる。地域連携診療計画加算300点は、急性期医療機関から回復期等連携医療機関へ、もしくは急性期・回復期等連携医療機関から外来連携医療機関等へ転院・退院する際と回復期等連携医療機関退院時に急性期医療機関へ情報を提供した際に算定できるが、入退院支援加算を算定していること、年3回以上の面会していることが条件である。年3回以上の面会に関しては、会合や研修で一同に会することは条件を満たさないとされているが、数か所の連携機関との打合せ等でも、全ての連携保険医療機関等の職員と相互に十分な意思疎通ができれば面会したものとして扱うとされており、急性期医療機関と複数の連携医療機関の間での打ち合わせでもよい可能性がある。なお、地域連携診療計画加算は診療情報提供料(I)250点と別に算定できないとされており、必要な情報を添付した場合はさらに200点を加算できるため地域連携診療計画加算より点数が高くなる。外来連携医療機関のメリットとして、地域連携診療計画加算を算定し退院した患者に関して1ヶ月以内にもとも入院していた医療機関へ情報を提供した際に、診療情報提供料(I)250点に地域連携診療計画加算として50点が加算できる。また、リハビリテーション計画提供料2は、発症や手術から14日以内に地域連携診療計画加算を算定して退院し、リハビリテーションを担う医療機関にリハビリテーション計画を文書で提供した場合に100点加算できるものである。

#### 4. その他

- 今後、地域連携診療計画加算を算定する予定があるか、算定するなら協議会で面会の場を提供してほしいかなどアンケートを取ることを提案した。
- 今後の協議会のあり方として、今まで通り連携パスの利用は勤めること、年3回の面会の条件を満たすような場を提供していく方針であることを伝えた。また、連携の多いかかりつけ医や介護保険施設を事務局へご連絡いただければ、事務局から協議会入会の打診を検討できること、各医療機関の特色を周知できるよう協議会の際に施設紹介を再開することなどを提案した。
- 異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- 当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。
- 最後に佐伯副委員長から、今後は医療機関ごとに面会できるような会議室もしくは会場を協議会の際に提供し、年3回の面会の条件を満たすよう検討する方針であることが伝えられた。

### ご意見やご要望の連絡先：

北九州市八幡西区医師ヶ丘1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：杉保聖子、担当医：加藤徳明（大腿骨近位部骨折）、白石純一郎（脳卒中）

Fax 093-691-3529

E-mail: [reha@mbox.Med.uoeh-u.ac.jp](mailto:reha@mbox.Med.uoeh-u.ac.jp)

文責	加藤 徳明	北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局	幹事
	白石 純一郎	北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局	幹事
		産業医科大学リハビリテーション医学講座	Tel 093-691-7266

【別紙】

第22回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会

出席者（敬称略）

副委員長：産業医科大学リハビリテーション医学講座 教授 佐伯 覚

JCHO九州病院 リハビリテーション室 林 秀俊

事務局：産業医科大学リハビリテーション医学講座 加藤 徳明 杉保 聖子

急性期医療機関：

北九州総合病院	整形外科	福田 文雄
JCHO九州病院	整形外科	土屋 邦喜
製鉄記念八幡病院	リハビリテーション部	小柳 靖裕
正和中央病院		浦上 泰成

回復期・一般他医療機関：

小倉リハビリテーション病院		赤津 嘉樹
正和なみき病院副院長、正和中央病院		浦上 泰成
北九州八幡東病院	リハビリテーション科	恵村 美幸
戸畑リハビリテーション病院	リハビリテーション科	原田 直樹
東和病院	リハビリテーション科	河野 修
東筑病院	リハビリテーション科	出永 文也
新生会病院	地域医療連携室	岩丸 悦子
西野病院	リハビリテーション科	賀屋 邦彦
遠賀中間医師会おかがき病院	リハビリテーションセンター	三好 徹生
新王子病院	リハビリテーション科	牧野 健一郎
慈恵曾根病院	地域医療連携室	林 孝子
北九州湯川病院	リハビリテーション科	安田 光進
町立芦屋中央病院	リハビリテーション科	福田 明仁

欠席者：

九州労災病院	院長	岩本 幸英
北九州中央病院		野口 雅夫
北九州市立医療センター	リハビリテーション科	吉兼 浩一
九州労災病院	整形外科	安田 廣生
小倉記念病院	整形外科	松崎 尚志
製鉄記念八幡病院	整形外科	藤田 秀一
済生会八幡総合病院	整形外科	兼川 雄次
済生会八幡総合病院	リハビリテーション部	日野 敏明
国家公務員共済組合連合会新小倉病院	整形外科	西田 茂喜
新小文字病院	医療連携室	岡 菜摘
北九州市立八幡病院	リハビリテーション室	須崎 省二
戸畑共立病院	リハビリテーション科	松崎 秀平
福岡新水巻病院	整形外科	金澤 洋介
産業医科大学病院	地域医療連携室	小樋 久美
門司掖済会病院	医療連携室	野口 美津江
健和会大手町病院	整形外科	吉野 興一郎
八幡東病院	回復期リハビリテーションセンター	芳賀 敏
北九州市立門司病院	地域医療連携室	前田 秀隆
北九州安部山公園病院	診療部	田中 繁
芳野病院	理学療法科	江崎 健
大原病院	事務部・居宅部	稲富 武志
松井病院	院長	松井 豊
宮田病院	地域医療連携室	赤星 宣子
戸畑けんわ病院	内科	前田 かつよ
くらて病院	リハビリテーション科	今永 真之
浅木病院	リハビリテーション科	重松 さやか

北九州中央病院	リハビリテーション科	高橋 順二
大平メディカルケア病院	リハビリテーション科	大橋 繁
北九州小倉病院	内科	金川 賢二
八幡慈恵病院	院長	真角 正
新栄会病院	リハビリテーション科	柚田 真知子
神原クリニック	リハビリテーション科	泊 政次
香月中央病院	リハビリテーション科	宮崎 達也
中間市立病院	リハビリテーション科	早野 時彦
健愛記念病院	整形外科	田中 秀敏
健愛記念病院	リハビリテーション科	野見山 真人
新中間病院	地域医療連携室	蛙田 沙矢香
佐々木病院	医療相談室	黒田 大作
三萩野病院	リハビリテーション科	久原 雅代
二島医院	院長	武 彰
こが医院	院長	古賀 雅之
あやめの里	リハビリテーション科	志田 啓太郎
しもそね整形外科骨粗しょう症クリニック	院長	中 敬彦

委員登録出席医療機関：

九州労災病院、産業医科大学病院、済生会八幡総合病院、北九州総合病院、北九州市立医療センター、小倉記念病院、製鉄記念八幡病院、JCHO九州病院、新小倉病院、新小文字病院、正和中央病院、福岡新水巻病院、健和会大手町病院、北九州八幡東病院、小倉リハビリテーション病院、正和なみき病院、北九州安部山公園病院、大原病院、北九州中央病院、松井病院、戸畑リハビリテーション病院、東和病院、宮田病院、戸畑けんわ病院、東筑病院、くらて病院、西野病院、遠賀中間医師会おかがき病院、浅木病院、大平メディカルケア病院、新王子病院、慈恵曽根病院、新中間病院、北九州湯川病院、芦屋中央病院、大手町リハビリテーション病院

合計138名